京都府立医科大学附属病院・薬物療法センターでがん化学療法を受けられた
患者さん・ご家族の皆様へ

「薬物療法センターにおける種々の副作用の出現状況調査ならびにその要因の解析」
に関する研究へのご協力のお願い

今回、京都府立医科大学は、がん化学療法に伴う副作用の出現状況ならびに副作用の予測因子に関する研究「薬物療法センターにおける種々の副作用の出現状況調査ならびにその要因の解析」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院でがん化学療法を受けられた患者さんの診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

多くのがん化学療法は、副作用予防対策の発展とともに外来へ移行しています。しかしながら、時として短時間の外来診療では、種々の副作用の詳細な聴取が十分にできないことがあります。薬物療法センターでは、抗がん剤治療を受けられる患者さんに症状チェックシートを記載していただいていますが、このシートは外来診療では聴取が十分ではない、さまざまな症状を把握するのに役立っています。そして、シートに記載の情報を主治医の先生に伝えることで化学療法中に起こった症状に対して、より早急で適切な対処が可能となっています。今回、私たちは過去にさかのぼり、抗がん剤の副作用の出現状況の調査を行い、さらに、どのような患者さんに副作用が起こりやすいのかを統計的に明らかにすることで、より有効で安全ながん化学療法の実施、ひいては患者さんの生活の質の向上につなげたいと考えました。

研究の方法

・対象となる患者さんについて

２００８年４月１日から２０２６年８月３１日までの間に、京都府立医科大学附属病院薬物療法センターで抗がん剤治療を受けられた患者さんが対象となります。

・方法について

当院薬物療法センターでがん化学療法を受けられた患者さんの診療記録簿より、症状チェックシートの記載内容、年齢、性別、疾患等の背景因子、臨床検査値、併用薬な

どの情報を抽出し、統計処理を行います。その結果に基づき、副作用の発症状況の調査ならびに関与していると判断される因子を探索します。そして研究結果について学会発表、論文の作成を行い、医学･薬学の進歩およびがん化学療法をうける患者さんの生活の質の向上に役立てたいと思っています。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、２０２７年１２月３１日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より、適切な研究であると承認されています。ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

連絡先

京都府立医科大学附属病院　　がん薬物療法部

研究責任者

職・氏名　医師　　高山　浩一　部長

電話：０７５－２５１－５５１３

連絡先および実務担当者

職・氏名　医師　　土井 俊文

電話：０７５－２５１－５５１９

職・氏名　薬剤師　神林　祐子

電話：０７５－２５１－５５１３